

LOBO調査【全国商工会議所早期景気観測調査】

2021.4月速報 業況DIは、回復基調続くも、厳しさ残る。先行きは感染再拡大に伴い、警戒感強まる

中国・米国などの海外経済の回復に伴い、生産増が続く半導体・電子部品関連や自動車関連の製造業が牽引したほか、巣ごもり需要で売上が堅調な小売業が全体を押し上げました。一方で、まん延防止等重点措置の実施に伴う営業時間短縮や観光需要低迷により、外食・観光関連は厳しい状況が続いています。オンライン活用や新事業展開などが進む中、業種・業態によって対応の難しさが指摘されるほか、原材料費上昇によるコスト負担増加を不安視する声も多く、中小企業の景況感は回復基調が続くものの、厳しさが残っています。※今回の業況DIは、比較対象の前年同月（2020年4月）が感染拡大により全国で緊急事態宣言が発令されていた時期であることに留意が必要です。

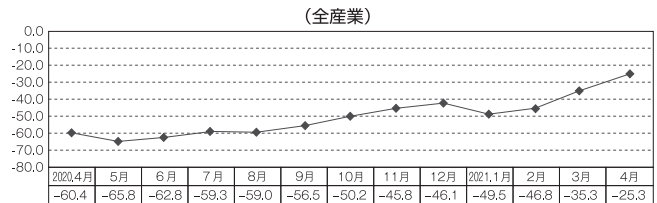
【産業別概況と見通し】 前月と比べたDI値の動き ▲改善 →ほぼ横ばい ▼悪化

	建設業 災害復旧や防災・減災工事などの土木関連を中心とした公共工事が下支えし、改善。ただし、一部では木材や鉄鋼などの資材価格の上昇による収益圧迫を指摘する声も聞かれました。 ・「リフォームや店舗のリニューアル工事の案件が増えているが、米国の新築住宅の需要急増やコンテナ不足を背景に輸入木材の仕入価格が上昇しており、今後の収益圧迫を懸念している」一般工業業 ・「若手従業員確保のため、昇給や労働時間短縮など待遇改善を検討しているが、民間工事減少など先行き不透明な経営環境で進められずにいる」管工事業
	製造業 鉄鋼をはじめとした原材料の仕入価格上昇を指摘する声も聞かれたものの、デジタル投資や5G向けに生産増が続く半導体・電子部品関連や中国向けを中心に売上が堅調な自動車関連が全体を押し上げ、改善。また、内食需要に下支えされた小売業向けの飲食料品関連も堅調に推移しました。 ・「ネット販売や業績が好調な取引先からの受注により売上を確保しているが、砂糖の仕入価格が上昇し、採算は悪化。今後、新商品や現行商品のリニューアルに伴う価格転嫁を進めていきたい」調味料製造業 ・「鋼材価格の値上げでコスト増となっているが、物流がストップしていた前年同月比では売上・採算ともに改善」自動車部品製造業
	卸売業 巣ごもり消費が好調な小売業向けの飲食料品や調味料、農畜水産品の売上が堅調に推移しているほか、半導体・電子部品関連や自動車関連の生産が好調な製造業向けの引き合いが増加し、改善。 ・「前年同月は新茶の販売前の緊急事態宣言で売上が落ち込んだが、今年は巣ごもりによる家庭内の需要増加やネット販売の受注増加により、売上は改善。今年の新茶は好天により品質がよいため、予約特典や贈答用の販促に力を入れ、さらなる売上改善を図りたい」茶類卸売業 ・「吸音材や絶縁材料など、自動車や電子部品製造業向けの製品の引き合いが伸びており、売上は改善」繊維品卸売業
	小売業 堅調な内食需要に下支えされた飲食料品のほか、在宅時間の増加により需要が伸びる家電製品などの住まい関連や家庭用ゲーム機などの趣味・娯楽品の売上が増加し、改善。 ・「緊急事態宣言による買いだめなどの影響で売上が大幅に増加した前年同月比では売上・採算ともに悪化」スーパー ・「家電製品やインテリア、園芸用品などの在宅時間を充実させる製品の売上が堅調に推移しており、業況は改善。来月にかけて花や野菜の苗の品揃えを強化し、春のガーデニング需要の取り込みを図る」ホームセンター
	サービス業 コロナ禍で需要が伸びているデジタル投資の恩恵を受けたソフトウェア業が堅調。加えて、半導体・電子部品関連や自動車関連の生産が好調な製造業向けの売上が増加した運送業が下支えし、改善。また、飲食業・宿泊業では、全国で緊急事態宣言が発令された前年同月比では業況感が改善したが、活動制約から依然厳しい状況が続くととの声も聞かれました。 ・「主要顧客である自動車関連の生産回復に伴い、輸送量が増えている」運送業 ・「緊急事態宣言の影響により、90%近く売上が落ち込んだ前年同月比では売上は改善。ただし、例年であれば大きな売上を見込める歓迎会などの宴会予約がほぼゼロとなっており、依然厳しい状況が続いている」宿泊業

業況DIの推移

	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	見通し5~7月
全産業	▲45.8	▲46.1	▲49.5	▲46.8	▲35.3	▲25.3	▲29.0
建設業	▲26.8	▲26.9	▲27.1	▲24.9	▲18.4	▲15.5	▲20.6
製造業	▲54.1	▲53.4	▲48.5	▲44.8	▲33.6	▲24.1	▲23.5
卸売業	▲39.0	▲45.3	▲49.0	▲47.7	▲35.0	▲27.0	▲31.5
小売業	▲41.5	▲45.5	▲49.5	▲45.8	▲33.9	▲23.5	▲32.9
サービス業	▲56.1	▲53.0	▲64.7	▲63.0	▲48.5	▲33.5	▲35.6

※見通しは、当月に比べて向こう3ヶ月の先行き見通しDI



※調査期間：2021年4月14日~20日

全国338商工会議所が2,752企業にヒアリング（東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

※DI値（景況判断指数）

業況・売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準として、景況感の相対的な広がりや意味する。

県内企業倒産発生状況

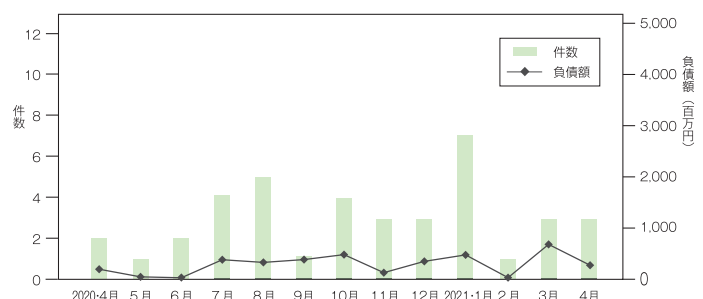
件数・負債総額共に前年同月より増加

〈令和3年4月概況と見通し〉

新型コロナウイルス感染症再拡大の影響を反映し、非常に厳しい状況に追い込まれている宿泊・飲食等の個人消費を始め、公共投資を下方修正しましたが、生産と設備投資を上方修正。全体の基調判断は据え置かれました。山形市・寒河江市が発出した独自の緊急事態宣言は解除された他、ワクチン接種も徐々に始まる等、一部では光明の兆しが見え始めていましたが、4都府県で発出された3回目の同宣言の影響は大きく、GW中の消費行動や観光需要が減少し、山形県にも相応のマイナス影響を

及ぼしたものと見られています。コロナ関連のセーフティネット貸付制度や給付支援等を背景に倒産件数は抑制されてきましたが、実際には業績回復や業態転換が遅れている感も否定出来ず、更なる追加支援を求める声も少なくありません。新型コロナウイルス感染の終息目途が立たず、業績悪化に拍車がかかれば、我慢の経営も限界に達し、息切れ倒産が増勢を辿る可能性もあり、引き続き予断の許されない状況が続くものと見られます。

山形県 月別倒産件数 負債額



	(負債額1千万円以上)			
	東南置賜		山形県	
	件数	負債金額	件数	負債金額
令和3年4月	1	百万円134	3	百万円276
前月比(%)	-	-	100.0	40.2
前年同月比(%)	-	-	150.0	141.5

東南置賜…米沢・南陽・高島・川西

協力/東京商工リサーチ